Real World Attributes





お前護よ



- うさみけんた (@tadsan) / Zonu.EXE / にゃんだーすわん
- ピクシブ株式会社 pixiv事業本部 エンジニア
 - 最近はピクシブ百科事典(dic.pixiv.net)を開発しています
- Emacs Lisper, PHPer
 - Emacs PHP Modeを開発しています (2017年-)
- プログラミング言語にちょっとこだわりのある素人



PHPerKaigiで話した

Attributeを極める

Mastering Attributes





X

会北產業



今北產業

- なんか #[Attribute] みたいなへんてこ記法がPHP 8.0で追加された
- いままで /** DocComment */ に書かれてたやつの代用として提案
- クラスとかメソッドに書けるコメントみたいなもんだけどデータを取り出せる



こんなの何に使うのって?



キミだけの最強の活用法を見付けだせ!!



ご静聴ありがとうこざいました!



…というひどい発表をしてきた



#[Attr()]と書く 談記法が出てきた ・・・ということだけ、 お見知りおきください

誰が使うんだ?という話



PHPUnitの実行制御

```
/**
  * @dataProvider idsProvider
  */
public function test($id, $expected):
void {
```



```
@dataProvider
* [$id, $expected]
public function idsProvider() {
  return [
    [1, 'value'],
    [2, 'value'],
```



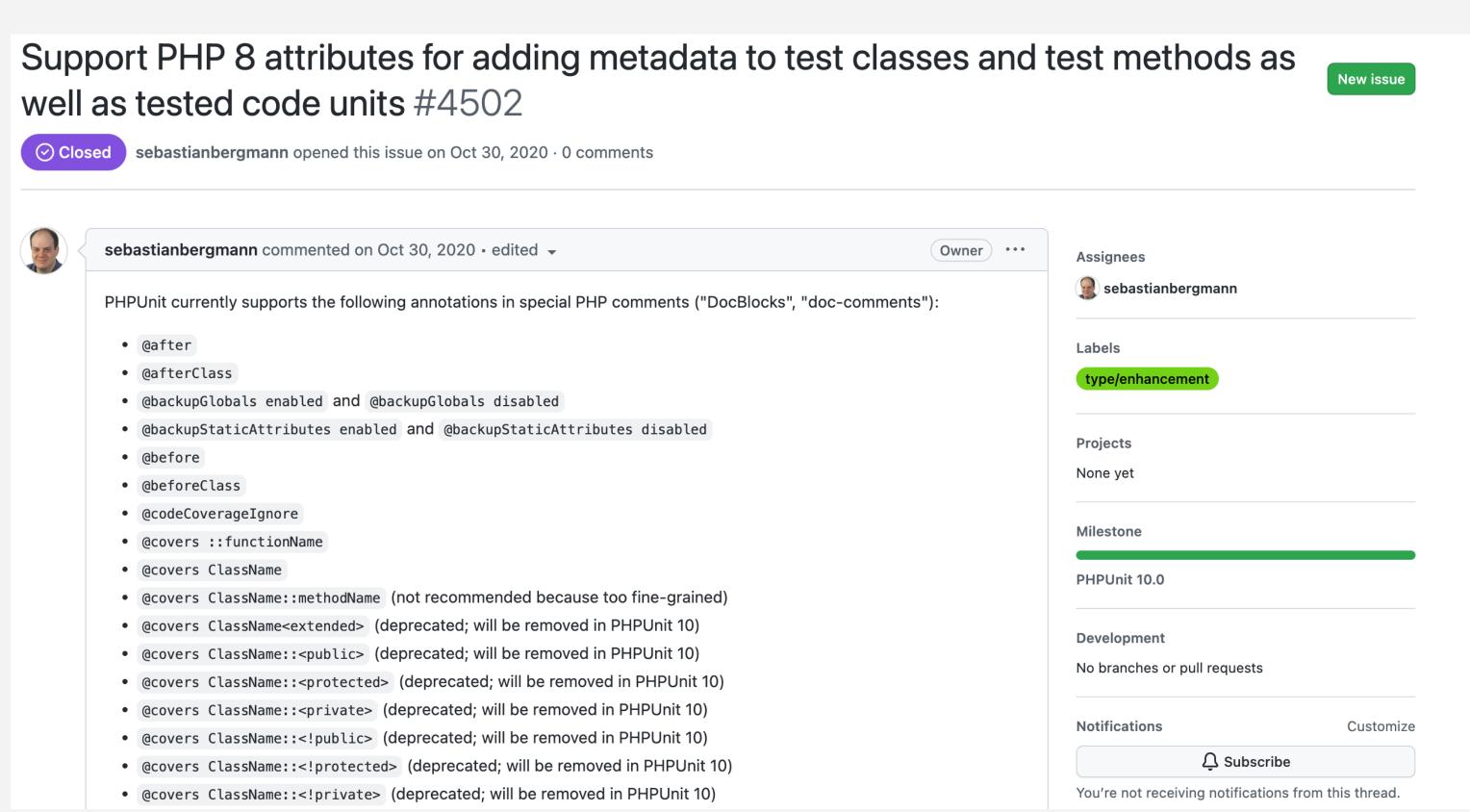
PHPUnit 10 vs Attribute

- PHPUnit 10でAttributeに移行、11で非推奨化、12で削除予定
- 超大量の移行リスト… <u>sebastianbergmann/phpunit#4502</u>
- その他の変更は<u>02氏の</u>発表を参照のこと



PHPUnit 10 概論

2023/03/23 PHPerKaigi 2023 @02



テスト好きかい?



「うん、大好きさ」



むかし書いた





pixiv insideは移転しました! » https://inside.pixiv.blog/

2016-10-25

DocCommentでPHPのユニットテストの書きやす さを劇的に改善する手法

こんにちは、pixivでPHPをやってる@tadsanです。好きなテスティングフレームワークは<u>PHPUnit</u> です! 好きな某CALOIDは<u>テトさん</u>です!

みなさまはユニットテストを書いていらっしゃいますか? 今回はDocCommentとPHPUnitのデー タプロバイダーをうまく利用してテストの記述を省力化する手法を紹介いたします ヾ(〃><)ノ゙

提案手法

実装のDocCommentに「期待値」と「入力パラメータ」を記述することで、テストケースメソッ ドをいちいち追加せずともユニットテストできるようになります。また、入力(パラメータ)と 出力(期待値)を明記することで、実行せずともコメントとしてわかりやすくする効果があり ます。

pixiv insideとは

<u>https://inside.pixiv.blog/</u> に移転しました。こち らは2016年末までのアーカイブです。

✓ 読者です 234

このブログについて

月別アーカイブ

2016 (52)

2016 / 12 (28)

2016 / 11 (6)

2016 / 10 (1)

2016 / 9 (4)

2016 / 8 (1)

2016 / 7 (2)

2016 / 6 (1)

2016 / 5 (4)

2016 / 4 (1) 2016 / 2 (2)

2016 / 1 (2)

2015 (60)

2014 (63)

実装の上にコメントでテストを書ける

```
<?php
/**
 * @route\example http://www.pixiv.net/i/12345 {illust_id: 12345}
 */
public static function fullTouchMemberIllustMedium(array $params)
    Util_Assert::num($params['illust_id']);
    $params = array_merge(['mode' => 'medium'], $params);
    return self::buildUrl(SYSTEM_URL_TOUCH, '/member_illust.php', ['mode', 'il
```

DataProvideræ



これはAttributeにできる



ということでやったよ



Attributeの定義はこれだけ

```
#[Attribute(Attribute::TARGET_METHOD | Attribute::IS_REPEATABLE)]
#[Spiral\Attributes\NamedArgumentConstructor]
final class RouteExample
    /**
     * @param non-empty-string $expected URL または 例外のクラス名
     * <a href="mailto:aparam">aparam</a> array<mixed> $params
     */
    public function __construct(
        private string $expected,
        private array $params
```

実装の上にAttributeでテスト

```
/**
 * イラストの短縮URL
 * @route\example https://www.pixiv.net/i/12345 {id: 12345}
#[RouteExample('https://www.pixiv.net/i/12345', ['id' => 12345])]
public static function fullWwwShortI(array $params)
    Util_Assert::int($params['id']);
    return self::_buildUrl( host: SYSTEM_URL_WWW, route: '/i/:id', [], $params);
```